

小山町道路土工構造物個別管理計画

令和4年12月

小山町 建設課

目 次

第1章. 個別管理計画策定の目的	1
1-1 道路土工構造物個別管理計画の必要性	1
1-2 本計画の目的	1
1-3 計画策定の検討フロー	1
第2章. 対象施設	2
第3章. 個別施設の状態等の現状	7
3-1 損傷状況の判定方法	7
3-2 道路土工構造物の健全度	8
第4章. 維持管理の基本的な考え方	9
4-1 管理の基本方針	9
4-2 特定道路土工構造物および重要度1の道路土工構造物	14
4-3 管理区分の設定（管理施設の分類）	16
4-4 点検方法・点検頻度	20
4-5 計画の見直し	22
第5章. 対策の優先順位の考え方	23
5-1 優先度評価の考え方	23
5-2 優先度評価結果	28
第6章. 対策内容と実施時期	31
6-1 補修・更新費用の見通し	31
6-2 対策内容と実施時期	31
6-3 計画期間	33
6-4 対策費用	33

第1章 個別管理計画策定の目的

1-1 道路土工構造物個別管理計画の必要性

これまでの道路土工構造物の維持管理は、巡視や通報により異常の有無を確認し、過去の実績や担当者の経験に基づく判断により、必要に応じて対策を実施していました。

今後の維持管理は、定期的に施設状態を把握し、統一的な判断基準により、対策が必要な箇所を明らかにするとともに、優先度評価に基づき施設の安全性を確保しつつ適正な事業量配分を行うものとし、施設の特性や設置箇所等の条件を踏まえ、計画的に実施することが重要になります。

1-2 本計画の目的

小山町道路土工構造物個別管理計画（以下、本計画）は、町が管理する道路のうち主要幹線路線の道路土工構造物について、安全かつ円滑な交通の確保と効率的な維持管理を行うことを目的として策定しました。

1-3 計画策定の検討フロー

本計画の策定までの検討フローは、以下のとおりです。

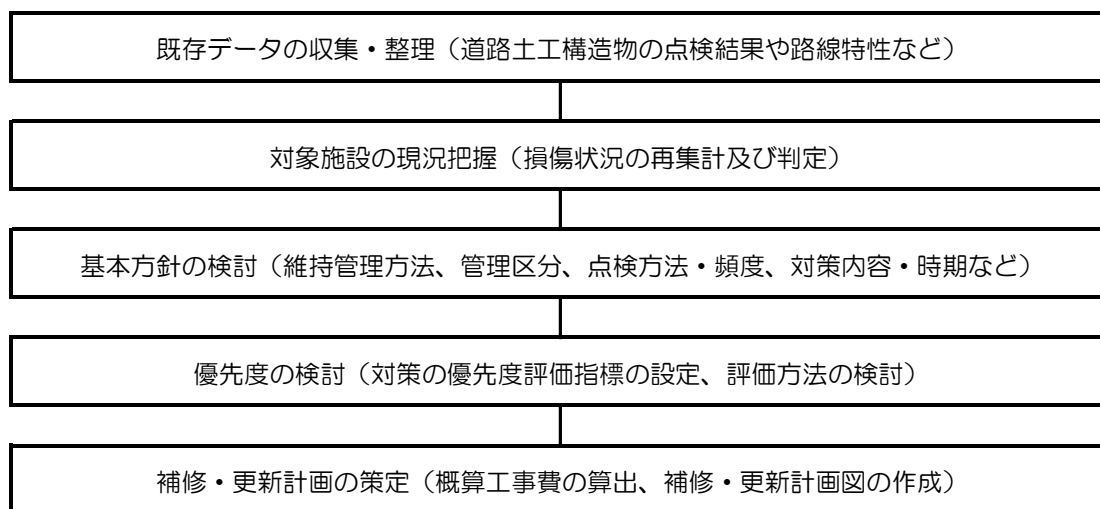


図 1-1 計画策定の検討フロー

第2章.対象施設

本計画の対象施設は、町が管理する道路のうち、主要幹線路線の道路土工構造物 261箇所とします。なお、対象施設については、平成27年度と令和3年度、令和4年度に点検を実施しています。

○道路土工構造物の対象施設 261箇所

対象施設 261箇所の一覧を次ページに示します。

表 2-1 道路土工構造物の対象施設一覧〔261箇所〕

連番	整理番号	路線名	路線番号	施設種別	施設種別詳細	施設延長 (m)	点検 年度	管理 区分	備考
1	1-1.007	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	75.2	H27	B	重要度 2
2	1-1.016	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	283.5	H27	B	重要度 2
3	1-1.017	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	48.5	H27	B	重要度 2
4	1-1.018	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	72.9	H27	B	重要度 2
5	1-1.U001	上野大御神線	1-1	擁壁工	補強土壁工	24.1	H27	A	重要度 2
6	1-1.U002	上野大御神線	1-1	擁壁工	補強土壁工	17.1	H27	A	重要度 2
7	1-1.U003	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	116.6	H27	A	重要度 2
8	1-1.U004	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.0	H27	A	重要度 2
9	1-1.U007	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	30.7	H27	A	重要度 1
10	1-1.U008	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.2	H27	A	重要度 1
11	1-1.U009	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.0	H27	A	重要度 1
12	1-1.U010	上野大御神線	1-1	擁壁工	コンクリート擁壁工	29.3	H27	A	重要度 1
13	1-1.U011	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	141.8	H27	A	重要度 2
14	1-2.U003	一色中日向線	1-2	盛土のり面	ブロック張り	51.6	H27	B	重要度 2
15	1-3.001	一色大胡田線	1-3	擁壁工	ブロック積擁壁工	67.0	H27	B	重要度 2
16	1-4.U002	七曲阿多野線	1-4	擁壁工	コンクリート擁壁工	60.7	H27	A	重要度 2
17	1-5.001	小山白岩線	1-5	擁壁工	ブロック積擁壁工	38.3	H27	A	重要度 2
18	1-5.004	小山白岩線	1-5	切土のり面	吹付工	32.2	H27	A	重要度 2
19	1-5.005	小山白岩線	1-5	切土のり面	吹付工	95.0	H27	A	重要度 2
20	1-5.006	小山白岩線	1-5	擁壁工	ブロック積擁壁工	13.0	H27	A	重要度 2
21	1-5.008	小山白岩線	1-5	落石防護工	落石防護柵工	30.5	H27	B	重要度 2
22	1-5.010	小山白岩線	1-5	落石防護工	落石防護柵工	47.7	H27	A	重要度 2
23	1-5.012	小山白岩線	1-5	落石防護工	落石防護柵工	29.0	H27	A	重要度 2
24	1-5.U002	小山白岩線	1-5	擁壁工	ブロック積擁壁工	36.6	H27	B	重要度 2
25	1-6.001	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	70.8	H27	A	重要度 2
26	1-6.002	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	51.2	H27	B	重要度 2
27	1-6.003	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	43.8	H27	A	重要度 2
28	1-6.004	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	104.3	H27	A	重要度 2
29	1-6.005	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	120.3	H27	A	重要度 2
30	1-6.U001	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	17.5	H27	A	重要度 1
31	1-6.U002	小山犬の平線	1-6	擁壁工	コンクリート擁壁工	45.7	H27	A	重要度 1
32	1-6.U003	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	61.4	H27	A	重要度 1
33	1-6.U004	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	74.5	H27	A	重要度 1
34	1-6.U006	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.5	H27	A	重要度 2
35	1-6.U007	小山犬の平線	1-6	擁壁工	コンクリート擁壁工	20.9	H27	A	重要度 2
36	1-6.U008	小山犬の平線	1-6	擁壁工	コンクリート擁壁工	16.4	H27	A	重要度 2
37	1-6.U009	小山犬の平線	1-6	擁壁工	コンクリート擁壁工	36.8	H27	A	重要度 2
38	1-6.U010	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.5	H27	A	重要度 2
39	1-6.U011	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	230.8	H27	A	重要度 2
40	1-6.U013	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	121.4	H27	A	重要度 2
41	1-6.U014	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.4	H27	A	重要度 2
42	1-6.U015	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	47.8	H27	A	重要度 2
43	1-7.001	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	83.9	H27	A	重要度 2
44	1-7.002	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	50.3	H27	A	重要度 2
45	1-7.003	足柄三保線	1-7	擁壁工	コンクリート擁壁工	11.4	H27	A	重要度 2
46	1-7.004	足柄三保線	1-7	擁壁工	コンクリート擁壁工	6.7	H27	A	重要度 2
47	1-7.005	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	55.8	H27	A	重要度 2
48	1-7.006	足柄三保線	1-7	カルバート工	カルバート工	68.6	H27	A	重要度 2
49	1-7.007	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	76.0	H27	A	重要度 2
50	1-7.008	足柄三保線	1-7	擁壁工	コンクリート擁壁工	11.6	H27	A	重要度 2
51	1-7.009	足柄三保線	1-7	擁壁工	コンクリート擁壁工	12.4	H27	A	重要度 2
52	1-7.010	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	48.2	H27	B	重要度 2
53	1-7.011	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	38.0	H27	A	重要度 2
54	1-7.012	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	85.0	H27	A	重要度 2
55	1-7.013	足柄三保線	1-7	落石防護工	落石防護柵工	72.2	H27	B	重要度 2
56	1-7.016	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	82.6	H27	A	重要度 2
57	1-7.017	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	52.7	H27	A	重要度 2
58	1-7.U002	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	118.7	H27	A	重要度 2
59	1-7.U007	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	113.0	H27	A	重要度 2
60	1-7.U010	足柄三保線	1-7	擁壁工	ブロック積擁壁工	26.9	H27	A	重要度 2
61	1-8.002	足柄三保線	1-8	落石防護工	落石防護柵工	79.5	H27	A	重要度 2
62	1-8.003	足柄三保線	1-8	擁壁工	コンクリート擁壁工	78.8	H27	B	重要度 2
63	1-8.004	足柄三保線	1-8	落石防護工	落石防護柵工	77.8	H27	B	重要度 2
64	1-8.005	足柄三保線	1-8	擁壁工	コンクリート擁壁工	49.0	H27	A	重要度 2
65	1-8.006	足柄三保線	1-8	落石防護工	落石防護柵工	49.0	H27	B	重要度 2
66	1-8.007	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	50.6	H27	B	重要度 2
67	1-8.008	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	31.8	H27	A	重要度 2
68	1-8.009	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	50.0	H27	A	重要度 2
69	1-8.010	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	45.1	H27	A	重要度 2
70	1-8.011	足柄三保線	1-8	擁壁工	コンクリート張り	51.0	H27	A	重要度 2

71	1-8.012	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック張工	37.7	H27	A	重要度 2
72	1-8.013	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	49.3	H27	A	重要度 2
73	1-8.U001	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	120.0	H27	A	重要度 2
74	1-8.U002	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.1	H27	A	重要度 2
75	1-8.U003	足柄三保線	1-8	盛土のり面	盛土工	53.8	H27	A	重要度 2
76	1-8.U004	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	34.4	H27	A	重要度 2
77	1-8.U005	足柄三保線	1-8	盛土のり面	盛土工	22.9	H27	A	重要度 2
78	1-8.U006	足柄三保線	1-8	盛土のり面	盛土工	18.4	H27	A	重要度 2
79	1-8.U007	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	43.4	H27	A	重要度 2
80	1-8.U008	足柄三保線	1-8	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.2	H27	A	重要度 2
81	1-9.001	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	69.7	H27	B	重要度 2
82	1-9.002	足柄三保線	1-9	落石防護工	落石防護柵工	42.0	H27	B	重要度 2
83	1-9.004	足柄三保線	1-9	落石防護工	落石防護柵工	13.6	H27	B	重要度 2
84	1-9.008	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	117.5	H27	A	重要度 2
85	1-9.025	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	18.3	H27	B	重要度 2
86	1-9.026	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	56.0	H27	B	重要度 2
87	1-9.027	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.6	H27	B	重要度 2
88	1-9.028	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	9.1	H27	A	重要度 2
89	1-9.029	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	29.9	H27	B	重要度 2
90	1-9.U001	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	39.1	H27	A	重要度 2
91	1-9.U002	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	46.1	H27	A	重要度 2
92	1-9.U003	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.5	H27	A	重要度 2
93	1-9.U005	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	36.5	H27	A	重要度 2
94	1-9.U010	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	63.0	H27	A	重要度 2
95	1-9.U012	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	32.7	H27	A	重要度 2
96	1-9.U013	足柄三保線	1-9	擁壁工	ブロック積擁壁工	38.4	H27	A	重要度 2
97	1-11.001	一色大御神線	1-11	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.5	H27	B	重要度 2
98	1-11.U004	一色大御神線	1-11	擁壁工	ブロック積擁壁工	13.0	H27	A	重要度 2
99	1-11.U006	一色大御神線	1-11	擁壁工	補強土壁工	10.5	H27	A	重要度 2
100	2-15.006	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	136.0	H27	B	重要度 2
101	2-15.007	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	123.3	H27	A	重要度 2
102	2-15.008	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	138.5	H27	B	重要度 2
103	2-15.009	文京通り線	2-15	落石防護工	落石防護柵工	31.8	H27	B	重要度 2
104	2-15.010	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	67.4	H27	B	重要度 2
105	2-15.U001	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	54.8	H27	A	重要度 2
106	2-15.U002	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	69.0	H27	A	重要度 2
107	2-15.U003	文京通り線	2-15	盛土のり面	盛土工	30.5	H27	A	重要度 2
108	2-15.U004	文京通り線	2-15	盛土のり面	盛土工	142.0	H27	A	重要度 2
109	2-15.U005	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.8	H27	A	重要度 2
110	2-15.U006	文京通り線	2-15	擁壁工	ブロック積擁壁工	35.9	H27	A	重要度 2
111	2-24.002	佐野川大塚線	2-24	擁壁工	ブロック積擁壁工	58.8	H27	B	重要度 2
112	2-24.U001	佐野川大塚線	2-24	擁壁工	ブロック積擁壁工	40.5	H27	A	重要度 2
113	2-27.001	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	29.8	H27	B	重要度 2
114	2-27.003	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.8	H27	B	重要度 2
115	2-27.004	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.0	H27	A	重要度 2
116	2-27.005	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.0	H27	A	重要度 2
117	2-27.007	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	56.9	H27	A	重要度 2
118	2-27.008	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.3	H27	B	重要度 2
119	2-27.009	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	14.9	H27	A	重要度 2
120	2-27.U002	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	26.6	H27	A	重要度 2
121	2-27.U004	原向本線	2-27	擁壁工	ブロック積擁壁工	18.3	H27	A	重要度 2
122	2-28.004	奈良橋湯船線	2-28	カルバート工	カルバート工	20.0	H27	A	重要度 2
123	2-28.007	奈良橋湯船線	2-28	切土のり面	その他	54.7	H27	A	重要度 2
124	2-28.009	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	17.8	H27	B	重要度 2
125	2-28.U002	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	15.5	H27	B	重要度 2
126	2-28.U003	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	9.8	H27	B	重要度 2
127	2-28.U004	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	18.6	H27	A	重要度 2
128	2-28.U005	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.7	H27	B	重要度 2
129	2-28.U006	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.0	H27	A	重要度 2
130	2-28.U008	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.0	H27	B	重要度 2
131	2-28.U009	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.6	H27	B	重要度 2
132	2-28.U010	奈良橋湯船線	2-28	擁壁工	ブロック積擁壁工	11.4	H27	A	重要度 2
133	2-29.003	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	29.1	H27	B	重要度 2
134	2-29.006	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	27.5	H27	B	重要度 2
135	2-29.008	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.1	H27	B	重要度 2
136	2-29.009	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	26.2	H27	B	重要度 2
137	2-29.010	湯船本線	2-29	擁壁工	コンクリート張工	30.5	H27	B	重要度 2
138	2-29.011	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	29.3	H27	A	重要度 2
139	2-29.012	湯船本線	2-29	落石防護工	落石防護柵工	22.5	H27	B	重要度 2
140	2-29.013	湯船本線	2-29	落石防護工	落石防護柵工	30.5	H27	B	重要度 2
141	2-29.014	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.1	H27	B	重要度 2
142	2-29.015	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	40.5	H27	B	重要度 2
143	2-29.U003	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.9	H27	A	重要度 2
144	2-29.U004	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.3	H27	A	重要度 2
145	2-29.U005	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	67.7	H27	A	重要度 2
146	2-29.U006	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	39.4	H27	A	重要度 2
147	2-29.U007	湯船本線	2-29	擁壁工	ブロック積擁壁工	12.8	H27	A	重要度 2
148	2-30.001	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.9	H27	A	重要度 1
149	2-30.013	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.8	H27	A	重要度 1
150	2-30.014	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.3	H27	A	重要度 1
151	2-30.U001	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	39.2	H27	A	重要度 1
152	2-36.001	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	143.0	H27	A	重要度 2

153	2-36_003	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	94.0	H27	A	重要度 2
154	2-36_005	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	27.0	H27	A	重要度 2
155	2-36_006	桑木新柴線	2-36	擁壁工	コンクリート擁壁工	11.4	H27	B	重要度 2
156	2-36_007	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	29.5	H27	A	重要度 2
157	2-36_008	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.1	H27	A	重要度 2
158	2-36_010	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	52.8	H27	A	重要度 2
159	2-36_011	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	34.6	H27	B	重要度 2
160	2-36_U001	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	103.0	H27	A	重要度 1
161	2-36_U002	桑木新柴線	2-36	擁壁工	補強土壁工	56.2	H27	A	重要度 1
162	2-36_U003	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	18.5	H27	A	重要度 1
163	2-36_U009	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	62.2	H27	A	重要度 2
164	2-36_U010	桑木新柴線	2-36	擁壁工	コンクリート擁壁工	16.3	H27	A	重要度 2
165	2-37_019	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	40.7	H27	A	重要度 1/特定土工
166	2-37_020	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	72.0	H27	A	重要度 1/特定土工
167	2-37_021	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.8	H27	A	重要度 1/特定土工
168	2-37_022	原向中日向線	2-37	擁壁工	コンクリート擁壁工	83.5	H27	A	重要度 1/特定土工
169	2-37_023	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	73.8	H27	A	重要度 1/特定土工
170	2-37_024	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	56.3	H27	A	重要度 1/特定土工
171	2-37_026	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.4	H27	A	重要度 1/特定土工
172	2-37_030	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	36.9	H27	A	重要度 1/特定土工
173	2-37_031	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	108.0	H27	A	重要度 1/特定土工
174	2-37_032	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	129.8	H27	A	重要度 1/特定土工
175	2-37_034	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	135.4	H27	A	重要度 1/特定土工
176	2-37_035	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.5	H27	A	重要度 1/特定土工
177	2-37_037	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.5	H27	A	重要度 1/特定土工
178	2-37_040	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.9	H27	A	重要度 1/特定土工
179	2-37_041	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.7	H27	A	重要度 1/特定土工
180	2-37_044	原向中日向線	2-37	切土のり面	柵工	18.6	H27	A	重要度 1/特定土工
181	2-37_U004	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	51.8	H27	A	重要度 1
182	2-37_U005	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	54.0	H27	A	重要度 1
183	2-37_U009	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	64.3	H27	A	重要度 1
184	2-37_U011	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.9	H27	A	重要度 1
185	2-37_U012	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	53.0	H27	A	重要度 1
186	2-37_U013	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	49.4	H27	A	重要度 1
187	2-37_U015	原向中日向線	2-37	擁壁工	補強土壁工	96.8	H27	A	重要度 1/特定土工
188	2-37_U016	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	72.6	H27	A	重要度 1/特定土工
189	2-38_001	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.3	H27	A	重要度 2
190	2-38_002	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	132.6	H27	A	重要度 2
191	2-38_003	原向中日向線	2-38	落石防護工	落石防護柵工	89.0	H27	A	重要度 2
192	2-38_004	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	97.9	H27	A	重要度 2
193	2-38_006	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	35.2	H27	B	重要度 2
194	2-38_U002	原向中日向線	2-38	擁壁工	その他	28.8	H27	A	重要度 2
195	2-38_U003	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.7	H27	A	重要度 2
196	2-38_U004	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.8	H27	A	重要度 2
197	2-38_U005	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	53.4	H27	A	重要度 2
198	2-38_U006	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	47.9	H27	A	重要度 2
199	2-38_U007	原向中日向線	2-38	その他	その他	87.6	H27	A	重要度 2
200	2-38_U009	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.0	H27	A	重要度 2
201	2-38_U010	原向中日向線	2-38	擁壁工	ブロック積擁壁工	13.0	H27	A	重要度 2
202	1063_003	町道 1063 号線	1063	擁壁工	ブロック積擁壁工	62.7	H27	A	重要度 1
203	1063_005	町道 1063 号線	1063	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.2	H27	A	重要度 1
204	1063_U002	町道 1063 号線	1063	擁壁工	コンクリート擁壁工	48.7	H27	A	重要度 1
205	1065_U005	町道 1065 号線	1065	切土のり面	コンクリート張工	34.0	H27	A	重要度 1
206	1065_U006	町道 1065 号線	1065	擁壁工	ブロック積擁壁工	74.0	H27	A	重要度 2
207	1074_001	足柄三保線	1074	擁壁工	コンクリート擁壁工	37.0	H27	B	重要度 2
208	1074_003	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.5	H27	B	重要度 2
209	1074_005	足柄三保線	1074	落石防護工	落石防護柵工	77.3	H27	A	重要度 2
210	1074_006	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	62.2	H27	A	重要度 2
211	1074_009	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.9	H27	B	重要度 2
212	1074_U001	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	13.3	H27	A	重要度 2
213	1074_U002	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	26.2	H27	A	重要度 2
214	1074_U003	足柄三保線	1074	擁壁工	コンクリート擁壁工	51.3	H27	A	重要度 2
215	1074_U005	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.0	H27	A	重要度 2
216	1074_U006	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	49.7	H27	A	重要度 2
217	1074_U007	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	16.4	H27	A	重要度 2
218	1074_U008	足柄三保線	1074	擁壁工	ブロック積擁壁工	15.7	H27	A	重要度 2
219	1102_U001	中島藤曲線	1102	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.0	H27	A	重要度 2
220	1102_U002	中島藤曲線	1102	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.0	H27	A	重要度 2
221	1102_U003	中島藤曲線	1102	擁壁工	ブロック積擁壁工	17.5	H27	A	重要度 2
222	1260_003	七曲阿多野線	1260	切土のり面	その他	43.1	H27	A	重要度 2
223	1550_001	町道 1550 号線	1550	擁壁工	ブロック積擁壁工	217.0	H27	A	重要度 1
224	1550_U002	町道 1550 号線	1550	擁壁工	コンクリート擁壁工	49.5	H27	A	重要度 1
225	1550_U003	町道 1550 号線	1550	擁壁工	コンクリート擁壁工	57.2	H27	A	重要度 2
226	2144_002	町道 2144 号線	2144	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.5	H27	A	重要度 1
227	2160_002	町道 2160 号線	2160	擁壁工	ブロック積擁壁工	17.7	H27	B	重要度 2
228	2181_001	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	178.3	H27	B	重要度 2
229	2181_005	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	43.0	H27	A	重要度 2
230	2181_U003	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	39.5	H27	A	重要度 2
231	2181_U005	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	49.0	H27	A	重要度 2
232	2181_U006	町道 2181 号線	2181	擁壁工	コンクリート擁壁工	25.8	H27	A	重要度 2
233	2181_U007	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	38.6	H27	A	重要度 2
234	2181_U008	町道 2181 号線	2181	擁壁工	ブロック積擁壁工	76.0	H27	A	重要度 2

235	2385_001	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	35.7	H27	B	重要度 2
236	2385_002	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	43.0	H27	A	重要度 2
237	2385_003	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	48.4	H27	B	重要度 2
238	2385_004	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.5	H27	B	重要度 2
239	2385_005	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	54.0	H27	B	重要度 2
240	2385_008	町道 2385 号線	2385	切土のり面	その他	50.0	H27	A	重要度 2
241	2385_010	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	81.2	H27	B	重要度 2
242	2385_011	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.8	H27	A	重要度 2
243	2385_U001	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	101.5	H27	A	重要度 2
244	2385_U004	町道 2385 号線	2385	擁壁工	ブロック積擁壁工	71.3	H27	B	重要度 2
245	3866_U001	町道 3866 号線	3866	擁壁工	ブロック積擁壁工	57.0	H27	A	重要度 2
246	3866_U002	町道 3866 号線	3866	擁壁工	ブロック積擁壁工	78.0	H27	A	重要度 2
247	3883_001	町道 3883 号線	3883	擁壁工	ブロック積擁壁工	64.6	H27	A	重要度 2
248	3883_008	町道 3883 号線	3883	擁壁工	ブロック積擁壁工	49.7	H27	B	重要度 2
249	3883_009	町道 3883 号線	3883	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.6	H27	B	重要度 2
250	3883_U001	町道 3883 号線	3883	擁壁工	ブロック積擁壁工	20.4	H27	A	重要度 2
251	3883_U004	町道 3883 号線	3883	擁壁工	ブロック積擁壁工	68.0	H27	A	重要度 2
252	3911_U001	町道 3911 号線	3911	盛土のり面	盛土工	80.8	H27	A	重要度 2
253	3911_U003	町道 3911 号線	3911	擁壁工	ブロック積擁壁工	14.4	H27	B	重要度 2
254	4130_002	町道 4130 号線	4130	擁壁工	ブロック積擁壁工	16.8	H27	B	重要度 2
255	4166_001	町道 4166 号線	4166	擁壁工	ブロック積擁壁工	218.5	H27	B	重要度 2
256	4166_002	町道 4166 号線	4166	擁壁工	ブロック積擁壁工	71.9	H27	A	重要度 2
257	2-36_006-2	桑木新柴線	2-36	切土のり面	その他	11.0	R03	A	重要度 2
258	1679_U001	町道 1679 号線	1679	その他	斜面	10.5	R03	A	重要度 2
259	1679_U002	町道 1679 号線	1679	擁壁工	ブロック積擁壁工	36.7	R03	A	重要度 2
260	1017_001	町道 1017 号線	1017	擁壁工	ブロック積擁壁工	58.3	R04	A	重要度 1
261	1017_002	町道 1017 号線	1017	擁壁工	ブロック積擁壁工	108.1	R04	A	重要度 1

第3章 個別施設の状態等の現状

3-1 損傷状況の判定方法

平成27年度に実施した道路土工構造物の点検結果については、「総点検実施要領（案）【道路のり面工・土工構造物編】」に基づき健全度が判定されていることから、現状における最新の点検要領である「道路土工構造物点検要領（国土交通省道路局）平成29年8月」による健全度の判定を行いました。

点検要領では、構造物の判定基準に示された第三者被害につながるおそれのある異常の有無などを、次の判定区分（Ⅰ～Ⅳ）により区分することとなっています。

表 3-1 点検要領による判定区分

6-3 健全性の診断	
特定道路土工構造物の健全性の診断は以下の判定区分により行う。	
判定区分	判定の内容
Ⅰ 健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
Ⅱ 経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
Ⅲ 早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
Ⅳ 緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

なお、診断にあたって、構造物の安定性、変状の進行性、道路機能への影響といった着眼点をもつことが必要

出典：道路土工構造物点検要領（国土交通省道路局）H29.8 p.14

3-2 道路土工構造物の健全度

道路土工構造物の健全度について、判定区分の構成比は次のとおりとなります。令和4年度に新たに調査を実施した構造物において、2箇所の判定区分Ⅳがありました。

構造物（261箇所）の施設種別構成比

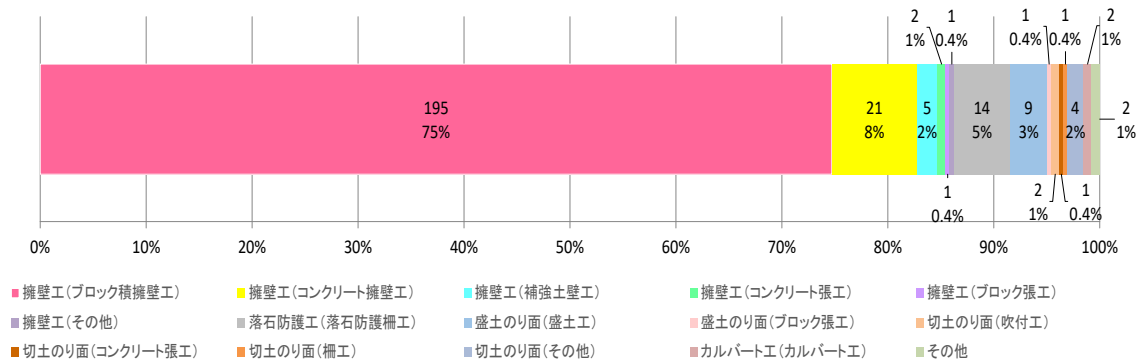
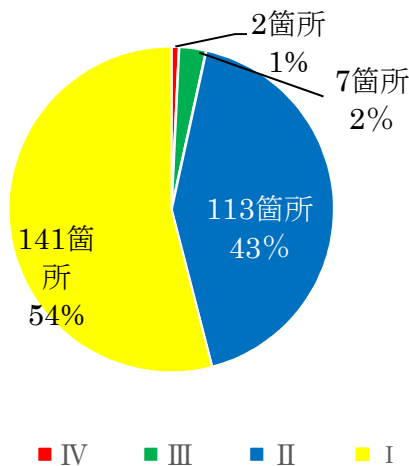
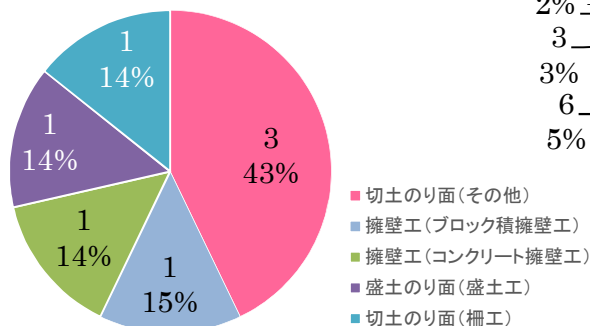


図 3-1 道路土工構造物の施設種別構成比

<構造物（261箇所）>
施設ごとの判定区分構成比



判定Ⅲの施設別内訳（7箇所）



判定Ⅱの施設別内訳（113箇所）

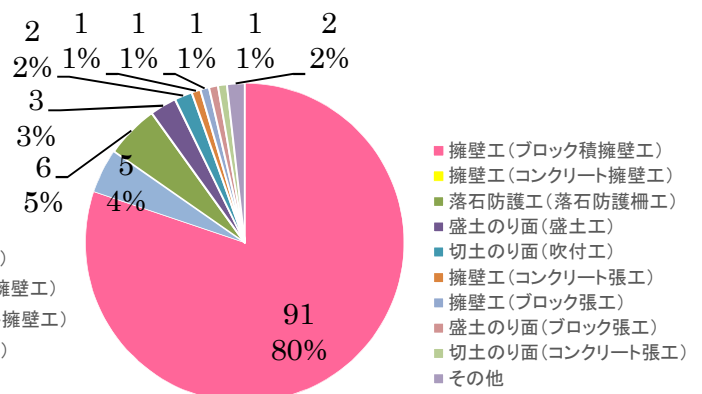


図 3-2 道路土工構造物の健全度（判定区分構成比・施設別内訳）

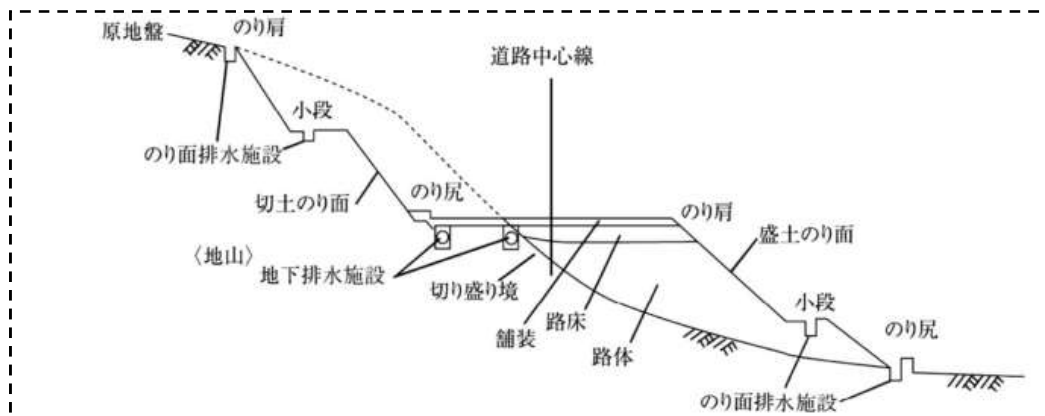
第4章 維持管理の基本的な考え方

道路土工構造物の管理は、事故発生時の社会的影響度を考慮するとともに財政上の制約を踏まえ“管理区分”を設定し、管理区分ごとの目標を達成できる維持管理を行うものとしてます。

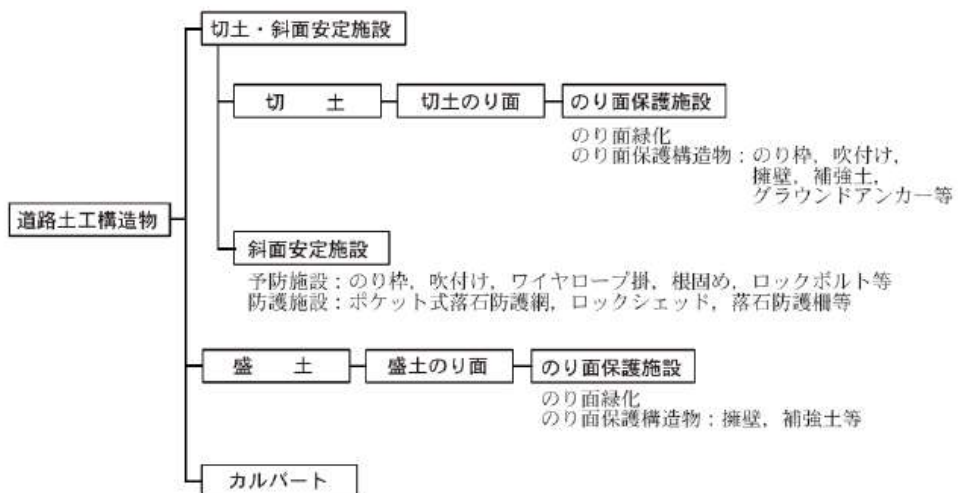
4-1 管理の基本方針

(1) 道路土工構造物の分類

「道路土工構造物技術基準・同解説 平成29年3月 日本道路協会」、「道路土工構造物点検要領 平成29年8月 国土交通省 道路局」によると、道路土工構造物は次のように分類されます。



解図2-1 盛土部及び切土部の断面と代表的な部位の名称



解図2-2 道路土工構造物の体系

(道路土工構造物技術基準・同解説 P15より抜粋)

前述の基準、要領によると、道路土工構造物の重要度は、想定する降雨や地震による作用と要求性能により「重要度 1」、「重要度 2」に区分されます。

道路土工構造物の作用と要求性能の組合せを解表 4-3 に例として示す。解表 4-3 の要求性能は、従来から道路土工指針において例示されているもので、一般的な道路土工構造物ではこれが採用されることが多い。

解表 4-3 道路土工構造物の作用と要求性能の組合せの例

想定する作用		重要度	
		重要度 1	重要度 2
常時の作用		性能 1	性能 1
降雨の作用※		性能 1	性能 1
地震動の作用	レベル 1 地震動	性能 1	性能 2
	レベル 2 地震動	性能 2	性能 3

※本表における降雨の作用は、4-2 (2) に示した供用期間中に通常想定される降雨である。

- (1) レベル 1 地震動
供用期間中に発生する確率が高い地震動
- (2) レベル 2 地震動
供用期間中に発生する確率は低いが大強度をもつ地震動

(道路土工構造物技術基準・同解説 P44 より抜粋)

◇道路土工構造物の重要度の区分

(3) 道路土工構造物の重要度の区分は、次のとおりとする。

重要度 1：下記 (ア)、(イ) に示す道路土工構造物

(ア) 下記に掲げる道路に存する道路土工構造物のうち、当該道路の機能への影響が著しいもの

- ・ 高速自動車国道，都市高速道路，指定都市高速道路，本州四国連絡高速道路及び一般国道
- ・ 都道府県道及び市町村道のうち、地域の防災計画上の位置づけや利用状況等に鑑みて、特に重要な道路

(イ) 損傷すると隣接する施設に著しい影響を与える道路土工構造物

重要度 2：(ア) 及び (イ) 以外の道路土工構造物

(道路土工構造物技術基準・同解説 P33 より抜粋)

◇道路土工構造物の重要度

(3) 道路土工構造物の重要度

重要度の区分は、地震時等の初動対応において道路が担う輸送路としての役割の重要性に鑑み、道路種別と、道路土工構造物が損傷した場合の道路としての通行機能への影響や隣接する施設に及ぼす影響等の重要性を勘案して設定されている。なお、道路土工構造物が損傷した場合、道路としての通行機能への影響や隣接する施設に及ぼす影響は、道路土工構造物の位置や規模等の設置条件によって異なることに留意する必要がある。

地域の防災計画上の位置づけ、他の構造物や施設への影響度、利用状況等から重要度を区分する場合には、次の事項を考慮するのがよい。

1) 地域の防災計画上の位置づけ

地域防災計画における緊急輸送道路等、道路土工構造物の存する区間の道路が災害後の救援活動、復旧活動等の緊急輸送を確保するために必要とされる度合い

2) 他の構造物や施設への影響度

道路土工構造物が被害を受けたとき、その損傷が他の構造物や隣接する施設等に影響を及ぼす度合い

3) 利用状況及び代替性の有無

交通量等の利用状況や、道路土工構造物が損傷し当該区間の道路が通行機能を失ったとき直ちに他の道路等によってそれまでの機能を維持できるような代替性の有無

4) 機能回復の難易度

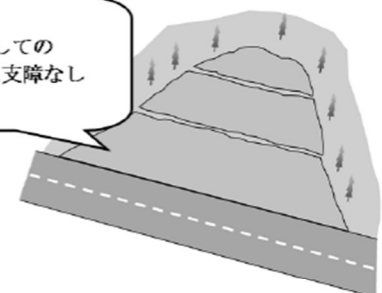
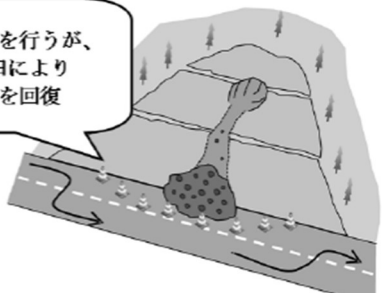
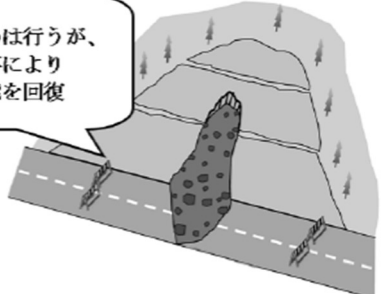
道路土工構造物が被害を受けた後に、その機能回復に要する時間等

(道路土工構造物技術基準・同解説 P44、P45より抜粋)

本計画では、上記の“1) 地域の防災計画上の位置付け”として緊急輸送道路に該当する構造物、“2) 他の構造物や施設への影響度”として鉄道、病院、避難所（主に学校）の近傍にある構造物、“3) 利用状況及び代替性の有無”として構造物の先の集落に迂回路の無い構造物を「重要度1」とします。

なお、“4) 機能回復の難易度”については、市街地内であることや構造物の規模を考慮し該当しないものとししました。

◇道路土工構造物の要求性能

性能	損傷イメージ
<p>性能1 道路土工構造物は健全である、又は、道路土工構造物は損傷するが、当該道路土工構造物の存する区間の道路としての機能に支障を及ぼさない性能</p>	<p>道路としての通行機能に支障なし</p> 
<p>性能2 道路土工構造物の損傷が限定的なものにとどまり、当該道路土工構造物の存する区間の道路の機能の一部に支障を及ぼすが、すみやかに回復できる性能</p>	<p>一時通行規制を行うが、簡易な復旧により通行機能を回復</p> 
<p>性能3 道路土工構造物の損傷が、当該道路土工構造物の存する区間の道路の機能に支障を及ぼすが、当該支障が致命的なものとならない性能</p>	<p>全面通行止めは行うが、復旧工事により通行機能を回復</p> 

解図 4-2 (a) 道路土工構造物の要求性能設定のイメージ (切土)

(道路土工構造物技術基準・同解説 P37 より抜粋)

(2) 特定道路土工構造物の考え方

特定道路土工構造物の条件は、点検要領に示されており、道路土工構造物技術基準に規定された「重要度1」の道路土工構造物のうち、長大切土又は高盛土が「特定道路土工構造物」に分類されます。

◇特定道路土工構造物の条件

(1) 特定道路土工構造物

「道路土工構造物技術基準」に規定された重要度1の道路土工構造物のうち、長大切土又は高盛土のことをいう。

(a) 長大切土

切土高おおむね15m以上の切土で、これを構成する切土のり面、のり面保護施設（吹付モルタル、のり枠、擁壁、補強土、グラウンドアンカー等）、排水施設等を含むものとする。

(b) 高盛土

盛土高おおむね10m以上の盛土で、盛土のり面、のり面保護施設（擁壁、補強土等）、排水施設等を含むものとする。

（道路土工構造物点検要領 P2より抜粋）

本計画では、この条件に準拠し「重要度1」の道路土工構造物のうち「長大切土」または「高盛土」を「特定道路土工構造物」に位置づけます。

4-2 特定道路土工構造物および重要度1の道路土工構造物

(1) 重要度1の構造物の該当状況

本町では、“1) 地域の防災計画上の位置付け”として緊急輸送道路に該当する構造物、“2) 他の構造物や施設への影響度”として鉄道、病院、避難所（主に学校）の近傍にある構造物、“3) 利用状況及び代替性の有無”として構造物の先の集落に迂回路の無い構造物を「重要度1」としました。

これより、「重要度1」に該当する道路土工構造物は48箇所になります。

(2) 特定道路土工構造物の該当状況

「重要度1」の道路土工構造物48箇所のうち、「長大切土」または「高盛土」が特定道路土工構造物になります。

この条件に該当する高盛土が原向中日向線に1箇所あります。当該箇所は、緊急輸送道路の指定区間にあり、主要幹線道路間を結ぶ重要な路線区間であることを考慮し、この区間の道路土工構造物18箇所を「特定道路土工構造物」としました。

重要度1の道路土工構造物と特定道路土工構造物の一覧を次ページに示します。

表 4-1 特定道路土工構造物と重要度 1 の道路土工構造物一覧

連番	整理番号	路線名	路線番号	施設種別	施設種別詳細	施設延長(m)	点検年度	管理区分	備考
9	1-1_U007	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	30.7	H27	A	重要度 1
10	1-1_U008	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	19.2	H27	A	重要度 1
11	1-1_U009	上野大御神線	1-1	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.0	H27	A	重要度 1
12	1-1_U010	上野大御神線	1-1	擁壁工	コンクリート擁壁工	29.3	H27	A	重要度 1
30	1-6_U001	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	17.5	H27	A	重要度 1
31	1-6_U002	小山犬の平線	1-6	擁壁工	コンクリート擁壁工	45.7	H27	A	重要度 1
32	1-6_U003	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	61.4	H27	A	重要度 1
33	1-6_U004	小山犬の平線	1-6	擁壁工	ブロック積擁壁工	74.5	H27	A	重要度 1
148	2-30_U001	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.9	H27	A	重要度 1
149	2-30_013	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	33.8	H27	A	重要度 1
150	2-30_014	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.3	H27	A	重要度 1
151	2-30_U001	足柄三保線	2-30	擁壁工	ブロック積擁壁工	39.2	H27	A	重要度 1
160	2-36_U001	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	103.0	H27	A	重要度 1
161	2-36_U002	桑木新柴線	2-36	擁壁工	補強土壁工	56.2	H27	A	重要度 1
162	2-36_U003	桑木新柴線	2-36	擁壁工	ブロック積擁壁工	18.5	H27	A	重要度 1
165	2-37_019	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	40.7	H27	A	重要度 1/特定土工
166	2-37_020	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	72.0	H27	A	重要度 1/特定土工
167	2-37_021	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.8	H27	A	重要度 1/特定土工
168	2-37_022	原向中日向線	2-37	擁壁工	コンクリート擁壁工	83.5	H27	A	重要度 1/特定土工
169	2-37_023	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	73.8	H27	A	重要度 1/特定土工
170	2-37_024	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	56.3	H27	A	重要度 1/特定土工
171	2-37_026	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.4	H27	A	重要度 1/特定土工
172	2-37_030	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	36.9	H27	A	重要度 1/特定土工
173	2-37_031	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	108.0	H27	A	重要度 1/特定土工
174	2-37_032	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	129.8	H27	A	重要度 1/特定土工
175	2-37_034	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	135.4	H27	A	重要度 1/特定土工
176	2-37_035	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.5	H27	A	重要度 1/特定土工
177	2-37_037	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	42.5	H27	A	重要度 1/特定土工
178	2-37_040	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	28.9	H27	A	重要度 1/特定土工
179	2-37_041	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	22.7	H27	A	重要度 1/特定土工
180	2-37_044	原向中日向線	2-37	切土のり面	柵工	18.6	H27	A	重要度 1/特定土工
181	2-37_U004	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	51.8	H27	A	重要度 1
182	2-37_U005	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	54.0	H27	A	重要度 1
183	2-37_U009	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	64.3	H27	A	重要度 1
184	2-37_U011	原向中日向線	2-37	擁壁工	ブロック積擁壁工	23.9	H27	A	重要度 1
185	2-37_U012	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	53.0	H27	A	重要度 1
186	2-37_U013	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	49.4	H27	A	重要度 1
187	2-37_U015	原向中日向線	2-37	擁壁工	補強土壁工	96.8	H27	A	重要度 1/特定土工
188	2-37_U016	原向中日向線	2-37	盛土のり面	盛土工	72.6	H27	A	重要度 1/特定土工
202	1063_003	町道 1063 号線	1063	擁壁工	ブロック積擁壁工	62.7	H27	A	重要度 1
203	1063_005	町道 1063 号線	1063	擁壁工	ブロック積擁壁工	41.2	H27	A	重要度 1
204	1063_U002	町道 1063 号線	1063	擁壁工	コンクリート擁壁工	48.7	H27	A	重要度 1
205	1065_U005	町道 1065 号線	1065	切土のり面	コンクリート張工	34.0	H27	A	重要度 1
223	1550_001	町道 1550 号線	1550	擁壁工	ブロック積擁壁工	217.0	H27	A	重要度 1
224	1550_U002	町道 1550 号線	1550	擁壁工	コンクリート擁壁工	49.5	H27	A	重要度 1
226	2144_002	町道 2144 号線	2144	擁壁工	ブロック積擁壁工	25.5	H27	A	重要度 1
260	1017_001	町道 1017 号線	1017	擁壁工	ブロック積擁壁工	58.3	R04	A	重要度 1
261	1017_002	町道 1017 号線	1017	擁壁工	ブロック積擁壁工	108.1	R04	A	重要度 1

4-3 管理区分の設定（管理施設の分類）

道路土工構造物は施設数が多く、事故発生時には第三者被害が懸念される構造物です。また、その中でも重要度が高いものとして特定道路土工構造物(※)があります。道路土工構造物の管理は、事故発生時の社会的影響度を考慮するとともに財政上の制約を踏まえ“管理区分”を設定し、管理区分ごとの目標を達成できる維持管理を行うものとしします。

(1) 管理目標と維持管理手法の設定

道路土工構造物の維持管理は、管理区分に応じて“どのように管理するか”という“目標”を踏まえて実施するものとし、設置状況や劣化環境の特性に応じた目標を設定することにより、メリハリのある管理を実現します。

表 4-2 管理目標と維持管理手法

管理目標	維持管理手法
発生した損傷を観察しながら、限界水準を下回る前の段階（予防）で補修を実施し、施設の機能を維持する。	予防保全型管理
発生した損傷を観察しながら、施設の限界水準を下回った後の段階で更新を実施し、道路利用に対する支障を回避することを基本とする。	事後保全型管理

(2) 管理区分の設定

道路土工構造物は「予防保全型」の管理を行うことを基本とします。道路土工構造物の「管理区分」は、崩壊・崩落等の異常発生時における社会的影響度や第三者被害の可能性による緊急度を考慮して設定しました。具体的には、道路擁壁・のり面等の高さにより区分し、4.0m 以上の道路土工構造物は異常発生時に第三者被害に進展する可能性がある緊急度の高い管理区分としました。

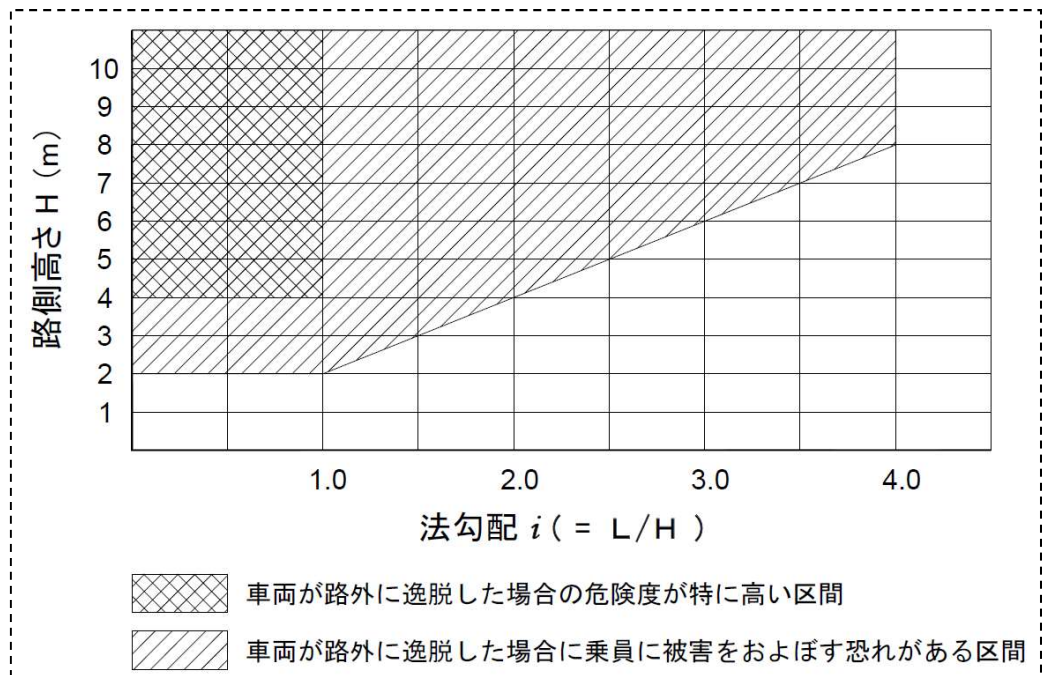
【第三者被害の可能性による道路土工構造物の区分】

- 第三者被害の可能性有り ⇒ 緊急度「高」
 - ・ 道路擁壁・のり面等高 4.0m 以上の道路土工構造物
(人の背丈の2倍以上となる道路擁壁・のり面の構造物)
 - ・ または、道路擁壁・のり面等高 2.0m 以上の構造物で天端にガードレールまたは防護柵がある道路土工構造物
- 第三者被害の可能性はほとんど無い ⇒ 緊急度「低」
 - ・ 道路擁壁・のり面等高 4.0m 未満の道路土工構造物

【参考】「第三者被害の可能性」の考え方

「防護柵の設置基準・同解説（H28.12 公益社団法人日本道路協会）」によると、以下の図の斜線部分は、車両が路外に逸脱した場合に「乗員に被害を及ぼすおそれがあると考えられる区間の目安」として示されており、道路擁壁・のり面等高 4.0m 以上であれば、路外の危険度が特に高い区間とされています。

また、道路擁壁・のり面等高 2.0m 以上の構造物で天端にガードレールまたは防護柵がある場合、この構造物が崩落・崩壊すると、上部の道路の車両や歩行者が被害を被る可能性があることから、それを含めて「第三者被害の可能性」を想定します。



(注) 法勾配 i : 自然のままの地山の法面の勾配、盛土部における法面の勾配および構造物との関連によって想定した法面の勾配を含み、垂直高さ 1 に対する水平長さ L の割合をいう ($i = L/H$)。

路側高さ H : 在来地盤から路面までの垂直高さをいう。

出典：防護柵の設置基準・同解説（H28.12 公益社団法人日本道路協会）

道路土工構造物の管理区分は、道路擁壁・のり面等の高さにより区分し、管理区分ごとの目標を達成できる維持管理を行います。予防保全型管理の道路土工構造物は、健全度の判定区分Ⅱの段階で対策実施や対策内容を判断し、判定区分Ⅲの段階で対策（補修）を実施します。

表 4-3 道路土工構造物の管理区分

道路擁壁・のり面等高による区分	維持管理手法	緊急度	対策の実施時期	管理区分
①特定道路土工構造物または重要度1の道路土工構造物 ②第三者被害の可能性有り →道路擁壁・のり面等高 4.0m以上の道路土工構造物 または 道路擁壁・のり面等高 2.0m 以上で天端にガードレールまたは防護柵がある道路土工構造物	予防保全型管理	高	健全度の判定区分Ⅱの段階で判断、Ⅲの段階で実施	A
第三者被害の可能性はほとんど無い →道路擁壁・のり面等高 4.0m未満の道路土工構造物	予防保全型管理	低	健全度の判定区分Ⅱの段階で判断、Ⅲの段階で実施（ただし管理区分Aの構造物の後に実施）	B

◇維持管理方法の考え方

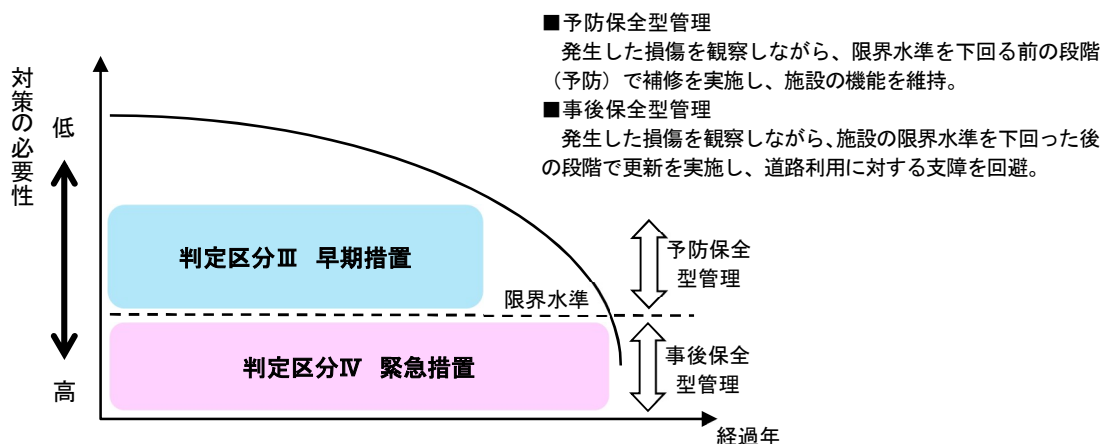


図 4-1 維持管理方法の考え方

表 4-4 道路土工構造物の管理区分と判定区分

管理区分	緊急度	判定区分の考え方	判定の内容	
<p>【予防保全型管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定道路土工構造物 または重要度1の道路土工構造物 <p>および</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路擁壁・のり面等高4.0m以上の道路土工構造物 <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> 道路擁壁・のり面等高2.0m以上で天端にガードレールまたは防護柵がある道路土工構造物 	A	高	IV 緊急措置	緊急的な措置が必要。
			III 早期措置	変状が確認され次回点検までに進行が想定され、措置を実施（第三者被害の可能性あり）。
			II 経過観察	変状の進行度合いの観察が一定期間必要で、対策を検討（将来的に第三者被害の可能性あり）。
			I 健全	変状なし（変状があっても対策の必要無し）。
<p>【予防保全型管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路擁壁・のり面等高4.0m未満の道路土工構造物 	B	低	IV 緊急措置	緊急的な措置が必要。（ただし管理区分Aの構造物の後に実施）
			III 早期措置	変状が確認され次回点検までに進行が想定され、措置を実施（第三者被害の可能性無し）・（管理区分Aの構造物の後に実施）。
			II 経過観察	変状の進行度合いの観察が一定期間必要（将来的に第三者被害の可能性無し）。
			I 健全	変状なし（変状があっても対策の必要無し）。

4-4 点検方法・点検頻度

道路土工構造物の点検は、道路土工構造物点検要領に準じて実施します。

◇道路土工構造物等の点検体系

		内容	
		重要度1	重要度2
道路土工構造物	大型カルバート シェッド	定期点検要領策定済み (平成26年6月) (※)	
	道路土工構造物 (上記を除く) 規模が大きい ↑↓ 規模が小さい	【通常点検】 特定道路土工構造物を含む全ての道路土工構造物を対象 【特定土工点検】 特定道路土工構造物 ・長大切土 ・高盛土	
自然 斜面		【危険度調査】 道路防災総点検など	

図-5 道路土工構造物等の点検体系

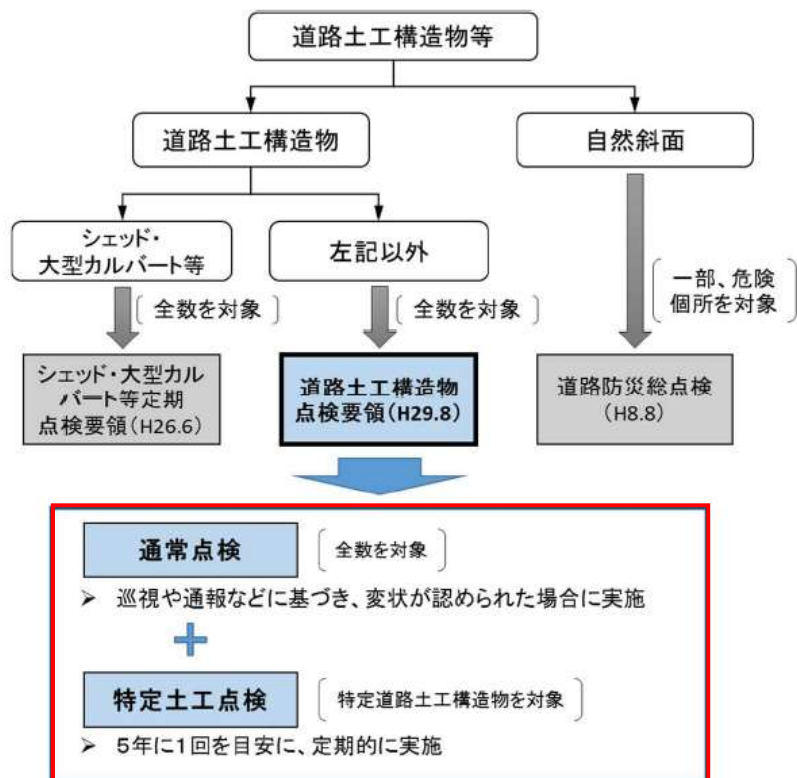


図-6 道路土工構造物点検要領の位置付け

(道路土工構造物点検要領 P6、7より抜粋)

(※) シェッド・大型カルバート等定期点検要領は平成31年2月版が最新になります

(1) 特定道路土工構造物の点検

特定道路土工構造物の点検は、5年に1回の頻度で近接目視による「特定土工点検」を行います。また、豪雨発生時や震度5弱以上の地震発生時には、緊急（臨時）点検を実施します。

5-1 点検の方法

(1) 特定土工点検の頻度は、5年に1回を目安として道路管理者が適切に設定する。
 (2) 特定土工点検は、近接目視により行うことを基本とする。

(道路土工構造物点検要領 P7より抜粋)

◇特定土工点検のフロー

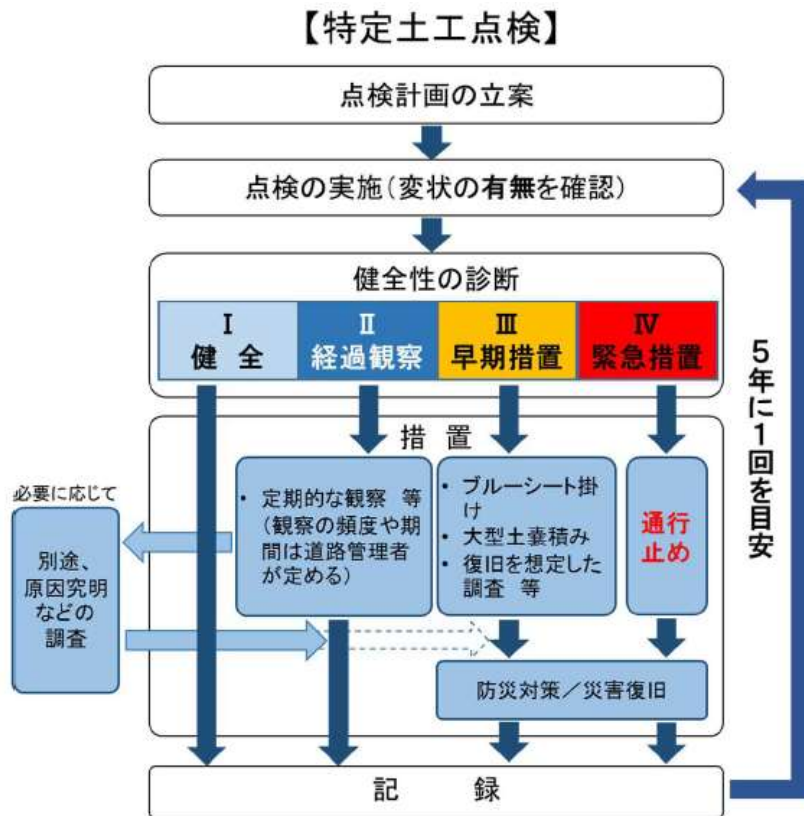


図-8 特定土工点検のフロー図

(道路土工構造物点検要領 P12より抜粋)

図 4-2 特定土工点検のフロー

(2) 特定道路土工構造物以外の点検

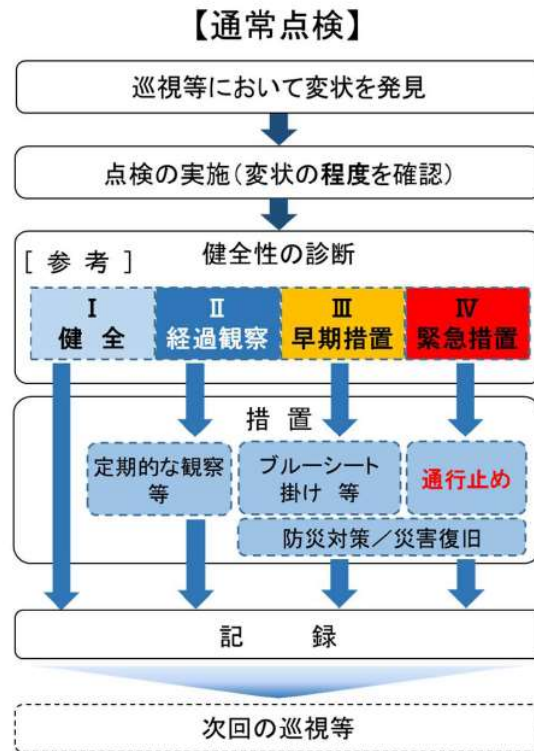
特定道路土工構造物以外の点検は、定期的に巡視等による「通常点検」を基本とします。また、経過観察に位置付けられる判定区分Ⅱ以上の構造物は、定期的な巡視等のほか、豪雨発生時や震度5弱以上の地震発生時に緊急（臨時）点検を実施し、異常が確認された場合、特定土工点検に準じた点検を行います。

6-1 点検の方法

- (1) 道路土工構造物の通常点検は、巡視等により変状が認められた場合に実施する。
- (2) 通常点検は、変状が認められた道路土工構造物について、巡視中もしくは巡視後、近接目視等により行うことを基本とする。

(道路土工構造物点検要領 P12 より抜粋)

◇通常点検のフロー



(道路土工構造物点検要領 P15 より抜粋)

図 4-3 通常点検のフロー

4-5 計画の見直し

道路土工構造物の補修・更新計画は、5年に1回を目安に計画の見直しを行うこととします。

第5章.対策の優先順位の考え方

道路土工構造物は、施設自体の崩落や崩壊が生じた場合、大きな第三者被害が懸念される施設です。対策の優先度は、第三者被害の発生リスクや社会的影響度を考慮し、健全度（損傷度）だけでなく、施設の重要度（管理区分）や道路の重要度（路線特性）による総合的な評価を行います。

5-1 優先度評価の考え方

(1) 優先度評価のイメージ

道路土工構造物の優先順位付けは、第一に健全度（損傷度）の「判定区分」と施設の重要度である「管理区分」、第二に道路の重要度として「路線特性」により評価します。

表 5-1 優先度評価の考え方

管理区分			損傷の判定区分		
管理区分	緊急度	対象とする構造物	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
A 予防保全	高	特定道路土工構造物・重要度1の構造物 道路擁壁・のり面等高4.0m以上の構造物 (道路擁壁・のり面等高2.0m以上の構造物で 天端にガードレールまたは防護柵がある場合 を含む)	経過観察	優先度 3	優先度 1
B 予防保全	低	道路擁壁・のり面等高4.0m未満の構造物	経過観察	優先度 4	優先度 2

路線特性						
低い(該当項目が少ない) ← 道路の重要度 → 高い(該当項目が多い)						
評価項目						
特定道路 土工構造物	緊急輸送 道路	道路のネット ワーク性	道路種別	車道幅員	バス路線	スクール ゾーン

(2)健全度（損傷度）

損傷度の評価は、第三者被害の可能性を考慮し、点検要領の判定区分により行います。

表 5-2 判定区分【再掲】

判定区分	判定の内容
I 健全	変状はない、もしくは変状があっても対策が必要ない場合（道路の機能に支障が生じていない状態）
II 経過観察段階	変状が確認され、変状の進行度合いの観察が一定期間必要な場合（道路の機能に支障が生じていないが、別途、詳細な調査の実施や定期的な観察などの措置が望ましい状態）
III 早期措置段階	変状が確認され、かつ次回点検までにさらに進行すると想定されることから構造物の崩壊が予想されるため、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい場合（道路の機能に支障は生じていないが、次回点検までに支障が生じる可能性があり、できるだけ速やかに措置を講ずることが望ましい状態）
IV 緊急措置段階	変状が著しく、大規模な崩壊に繋がるおそれがあると判断され、緊急的な措置が必要な場合（道路の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）

出典：道路土工構造物点検要領（国土交通省道路局）H29.8 p.14

(3)施設の重要度

施設の重要度の評価は、管理区分により行います。

表 5-3 管理区分【再掲】

道路擁壁・のり面等高による区分	維持管理手法	対策の実施時期	緊急度	管理区分	箇所数
①特定道路土工構造物または重要度1の道路土工構造物 ②第三者被害の可能性有り →道路擁壁・のり面等高 4.0m以上（または道路擁壁・のり面等高 2.0m以上で天端にガードレールまたは防護柵がある場合）の道路土工構造物	予防保全型管理	健全度の判定区分Ⅱの段階で判断、Ⅲの段階で実施	高	A	197箇所
第三者被害の可能性はほとんど無い →道路擁壁・のり面等高 4.0m未満の道路土工構造物	予防保全型管理	健全度の判定区分Ⅱの段階で判断、Ⅲの段階で実施 （ただし管理区分Aの構造物の対策後に実施）	低	B	64箇所

(4) 道路の重要度

道路の重要度の評価は、以下に示す 7 項目の路線特性により評価します。

1) 特定道路土工構造物

「特定道路土工構造物」は、路線の防災上の位置付けや構造物の高さ等により、重要度が高く位置付けられることから、優先度の評価指標に設定した。

【特定道路土工構造物による評価区分】

- 該当：25 点
- 非該当：0 点

2) 緊急輸送道路

災害発生時の緊急車両の通行を確保するなど災害時の安全性、円滑性の観点から、「緊急輸送道路」を評価指標に設定した。

【緊急輸送道路による評価区分】

- 緊急輸送路に該当：20 点
- 非該当：0 点

3) 道路のネットワーク性

道路の交通特性を評価する交通量に替わる指標として、道路のネットワーク性の観点から、国道、県道とのアクセス状況を評価指標として設定した。

【道路のネットワーク性による評価区分】

- 国道と県道間を接続する町道：20 点
- 県道間を接続する町道：10 点
- 上記以外の町道（＝その他町道）：0 点

4) 道路種別

町内の主要拠点を連絡する路線の重要度を考慮し、「道路種別」を優先度の評価指標に設定した。

【路線区分による評価区分】

- 1 級路線：10 点
- 2 級路線：5 点
- その他路線：0 点

5) 車道幅員

2車線道路相当の幅員 5.5m が確保された路線は、交通需要も見込まれるものとして、車道幅員を評価指標に設定した。

【車道幅員による評価区分】

- 5.5m 以上有り：10 点
- 5.5m 無し（未満）：0 点

6) 路線バス

町内の主要地区を連絡し、公共交通が運行する、比較的交通需要の多いと考えられる「バス路線」を考慮することとし、コミュニティバスを含む路線バスの運行経路を評価指標に設定した。

【路線バスによる評価区分】

- 路線バスの運行経路：10 点
- 上記以外の路線区間：0 点

7) スクールゾーン

小・中学生の通学や災害時の避難の安全性確保の視点から、「スクールゾーン」を評価指標に設定した。

【スクールゾーンによる評価区分】

- 小・中学校の半径 500m 範囲内：5 点
- 上記以外：0 点

(5) 優先度評価方法

設定した優先度評価方法を以下に示します。

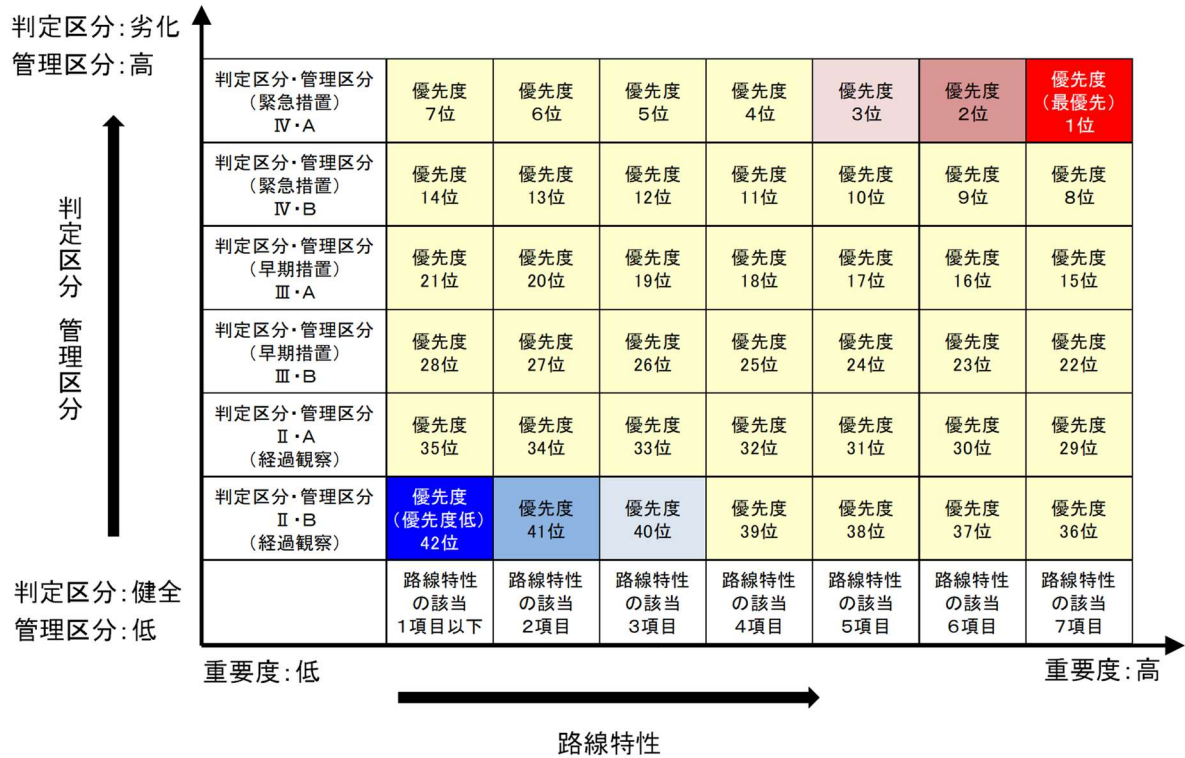


図 5-1 優先度評価方法

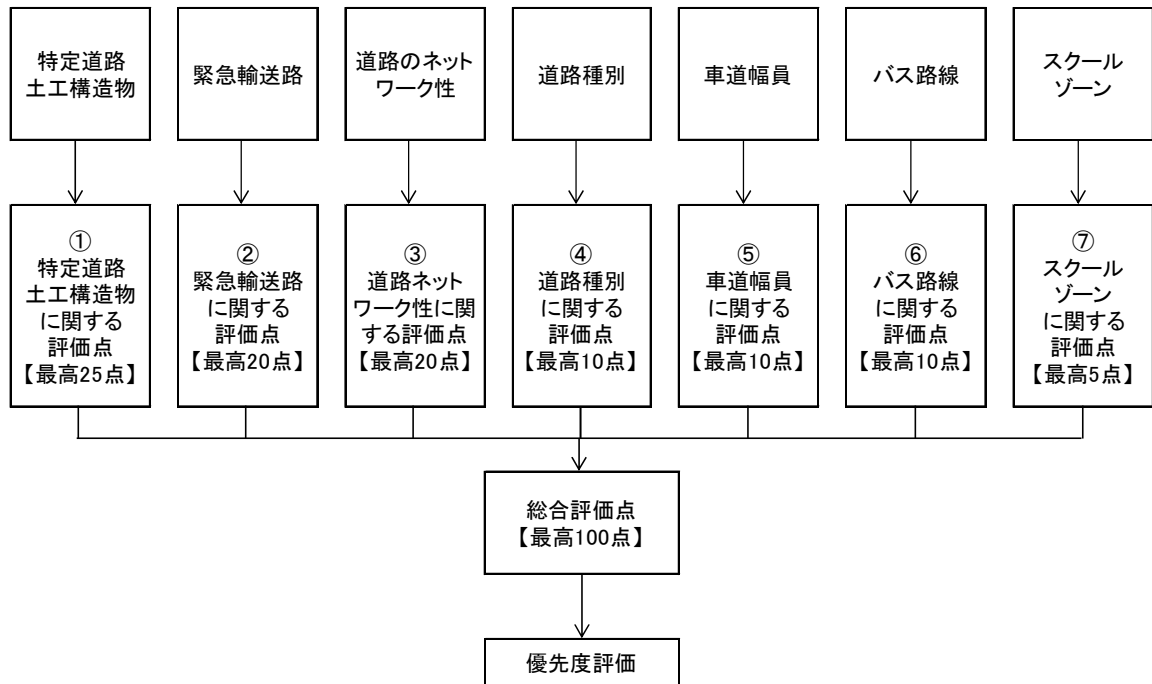


図 5-2 路線特性の評価方法

5-2 優先度評価結果

対象施設のうち、判定区分Ⅳ（2箇所）判定区分Ⅲ（7箇所）及び判定区分Ⅱ（113箇所）の計122箇所について、優先度を評価した結果を以下に示します。

表 5-4 優先度評価結果一覧

優先度	路線名	所在地	番号	施設種別詳細	管理区分	判定区分	重要度1の構造物※	特定道路土工構造物
1	町道 1017 号線	静岡県小山町生土	1017_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅳ	○	非該当
1	町道 1017 号線	静岡県小山町生土	1017_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅳ	○	非該当
3	原向中日向線	静岡県小山町中日向	2-37_044	切土のり面(柵工)	A	Ⅲ	◎	○
4	桑木新柴線	静岡県小山町桑木	2-36_006-2	切土のり面(その他)	A	Ⅲ	非該当	非該当
5	七曲阿多野線	静岡県小山町菅沼	1260_003	切土のり面(その他)	A	Ⅲ	非該当	非該当
6	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_U006	擁壁工(コンクリート擁壁)	A	Ⅲ	非該当	非該当
6	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_U004	盛土のり面(盛土工)	A	Ⅲ	非該当	非該当
8	奈良橋湯船線	静岡県小山町藤曲	2-28_007	切土のり面(その他)	A	Ⅲ	非該当	非該当
9	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_009	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	Ⅲ	非該当	非該当
10	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_U003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
11	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_019	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	◎	○
11	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_039	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	◎	○
11	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_040	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	◎	○
11	原向中日向線	静岡県小山町中日向	2-37_045	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	◎	○
11	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_037	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	◎	○
16	上野大御神線	静岡県小山町中日向	1-1_U007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	○	非該当
16	上野大御神線	静岡県小山町大御神	1-1_U010	擁壁工(コンクリート擁壁)	A	Ⅱ	○	非該当
18	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_U011	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	○	非該当
18	原向中日向線	静岡県小山町棚頭	2-37_U013	盛土のり面(盛土工)	A	Ⅱ	○	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_009	擁壁工(コンクリート擁壁)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_011	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_017	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7_U002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	足柄三保線	静岡県小山町新柴	1-7_U007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	町道 3866 号線	静岡県小山町一色	3866_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
20	町道 3866 号線	静岡県小山町一色	3866_U002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U002	擁壁工(コンクリート擁壁)	A	Ⅱ	○	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	○	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町	1-6_U004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	○	非該当
30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U006	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	Ⅱ	非該当	非該当

30	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U011	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
38	上野大御神線	静岡県小山町大御神	1-1_U011	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
38	小山白岩線	静岡県小山町小山	1-5_004	切土のり面(吹付工)	A	II	非該当	非該当
38	小山白岩線	静岡県小山町小山	1-5_005	切土のり面(吹付工)	A	II	非該当	非該当
38	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
38	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	○	非該当
38	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6_U013	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
38	町道 4166 号線	静岡県小山町須走	4166_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	桑木新柴線	静岡県小山町桑木	2-36_003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	桑木新柴線	静岡県小山町桑木	2-36_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	原向中日向線	静岡県小山町菅沼	2-38_004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	原向中日向線	静岡県小山町菅沼	2-38_U005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	原向中日向線	静岡県小山町菅沼	2-38_U007	その他(その他)	A	II	非該当	非該当
45	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_005	落石防護工(落石防護柵)	A	II	非該当	非該当
45	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_006	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_U005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_U006	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	中島藤曲線	静岡県小山町藤曲	1102_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	中島藤曲線	静岡県小山町藤曲	1102_U002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	中島藤曲線	静岡県小山町藤曲	1102_U003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
45	町道 1550 号線	静岡県小山町小山	1550_U003	擁壁工(コンクリート擁壁)	A	II	非該当	非該当
58	町道 1679 号線	静岡県小山町浅間丁	1679_U001	その他(斜面)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町竹之下	1-8_008	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町菅沼	1-8_011	擁壁工(コンクリート張工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町菅沼	1-8_012	擁壁工(ブロック張工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町柳島	1-9_U012	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町柳島	1-9_U013	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_U002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	町道 3883 号線	静岡県小山町吉久保	3883_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	町道 3883 号線	静岡県小山町大胡田	3883_U004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
59	町道 3911 号線	静岡県小山町用沢	3911_U001	盛土のり面(盛土工)	A	II	非該当	非該当
69	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
69	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
69	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_U003	盛土のり面(盛土工)	A	II	非該当	非該当
69	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_U005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
69	湯船本線	静岡県小山町湯船	2-29_U003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
69	足柄三保線	静岡県小山町柳島	2-30_013	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	○	非該当
69	町道 1063 号線	静岡県小山町藤曲	1063_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	○	非該当
69	町道 1065 号線	静岡県小山町藤曲	1065_U005	切土のり面(コンクリート張)	A	II	○	非該当
77	町道 1550 号線	静岡県小山町小山	1550_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	○	非該当
77	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
77	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_U005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
77	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
77	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_011	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
77	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_U001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
83	原向本線	静岡県小山町菅沼	2-27_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
83	原向本線	静岡県小山町菅沼	2-27_U004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
83	奈良橋湯船線	静岡県小山町藤曲	2-28_U010	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当

83	町道 2144 号線	静岡県小山町竹之下	2144_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	○	非該当
87	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_U007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
87	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_U008	擁壁工(ブロック積擁壁工)	A	II	非該当	非該当
89	足柄三保線	静岡県小山町桑木	1-7.013	落石防護工(落石防護柵)	B	II	非該当	非該当
90	一色中日向線	静岡県小山町用沢	1-2_U003	盛土のり面(ブロック張工)	B	II	非該当	非該当
90	小山犬の平線	静岡県小山町小山	1-6.002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
92	上野大御神線	静岡県小山町大御神	1-1.016	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
92	上野大御神線	静岡県小山町大御神	1-1.017	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
92	上野大御神線	静岡県小山町大御神	1-1.018	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
92	一色大胡田線	静岡県小山町下古城	1-3_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
92	町道 3911 号線	静岡県小山町	3911_U003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
97	原向中日向線	静岡県小山町菅沼	2-38_006	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
97	足柄三保線	静岡県小山町菅沼	1074_001	擁壁工(コンクリート擁壁)	B	II	非該当	非該当
99	足柄三保線	静岡県小山町竹之下	1-8.007	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
99	足柄三保線	静岡県小山町湯船	1-9.002	落石防護工(落石防護柵)	B	II	非該当	非該当
99	足柄三保線	静岡県小山町湯船	1-9.004	落石防護工(落石防護柵)	B	II	非該当	非該当
99	足柄三保線	静岡県小山町藤曲	1074_003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
99	町道 3883 号線	静岡県小山町大胡田	3883_008	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
99	町道 3883 号線	静岡県小山町大胡田	3883_009	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
105	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_006	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
105	文京通り線	静岡県小山町須走	2-15_008	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
105	佐野川大塚線	静岡県小山町用沢	2-24_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
105	町道 4130 号線	静岡県小山町須走	4130_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_005	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_010	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
109	町道 2385 号線	静岡県小山町桑木	2385_U004	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
115	原向本線	静岡県小山町菅沼	2-27_008	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
115	奈良橋湯船線	静岡県小山町藤曲	2-28_009	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
115	奈良橋湯船線	静岡県小山町藤曲	2-28_U009	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
115	湯船本線	静岡県小山町湯船	2-29_003	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
115	湯船本線	静岡県小山町湯船	2-29_012	落石防護工(落石防護柵)	B	II	非該当	非該当
115	湯船本線	静岡県小山町湯船	2-29_013	落石防護工(落石防護柵)	B	II	非該当	非該当
115	町道 2160 号線	静岡県小山町竹之下	2160_002	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当
122	町道 2181 号線	静岡県小山町竹之下	2181_001	擁壁工(ブロック積擁壁工)	B	II	非該当	非該当

※◎：重要度 1 の構造物のうち特定道路土工構造物に該当

第6章 対策内容と実施時期

6-1 補修・更新費用の見通し

道路土工構造物の耐用年数を60年^(※)とし、健全度と経過年数の関係を図5のように設定した場合について、今後60年間で必要となる補修・更新費用を試算しました。

基本方針に基づき維持管理を実施する場合の補修・更新費用を算出した結果、対象施設の補修・更新費用は、60年間で約7.7億円（1年当たり約1,270万円）が必要となる見込みです。

(※) コンクリート中性化の進行により、鉄筋の最小被り部分に中性化抵抗性がなくなる年数を参考に60年と設定しています。

6-2 対策内容と実施時期

(1) 経過年数による健全度の推移の設定

道路土工構造物の耐用年数を60年（Ⅰ⇒Ⅱ：30年、Ⅱ⇒Ⅲ：20年、Ⅲ⇒Ⅳ：10年）とし、経過年数による健全度の推移を以下のとおり設定しました。

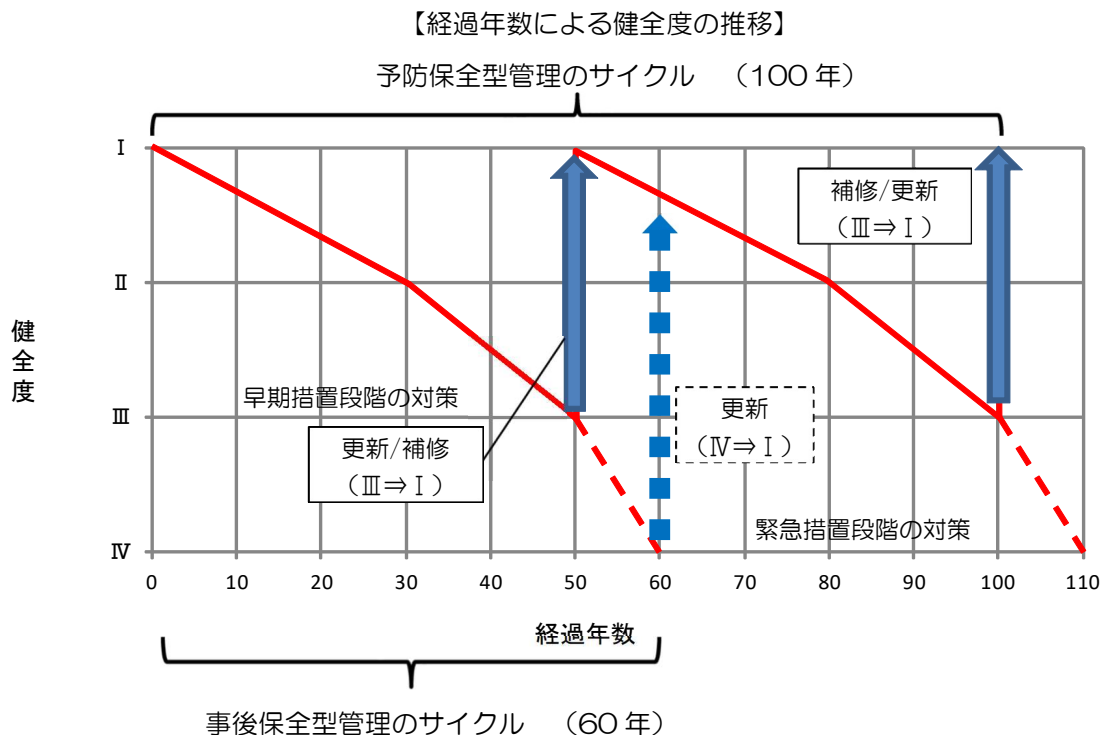


図 6-1 経過年数による健全度の推移イメージ（予防保全型管理）

(2)判定区分「Ⅳ」の道路土工構造物

判定区分「Ⅳ」の道路構造物は、速やかに通行止め等の緊急対応を行い、修繕を実施します。

(3)管理区分「A」・判定区分「Ⅲ」の道路土工構造物

管理区分「A」・判定区分「Ⅲ」の道路土工構造物は、特定土工点検の点検頻度を参考に、概ね5年以内に対策（更新）を行います。

また、更新後に劣化が進み、再度判定区分「Ⅲ」となった段階に対策（補修）を行うものとします。

(4)管理区分「B」・判定区分「Ⅲ」の道路土工構造物

管理区分「B」・判定区分「Ⅲ」の道路土工構造物は、管理区分「A」・判定区分「Ⅲ」の構造物の対策完了後、概ね5年以内に対策（更新）を行います。

(5)判定区分「Ⅱ」の道路土工構造物

判定区分Ⅱ（経過観察）の道路土工構造物は、定期的な巡視等により損傷状態を観察し、必要に応じて対策内容と実施時期を検討します。

6-3 計画期間

本計画の計画期間は、2022（令和4）年度から2031（令和13）年度までの10年間とします。

6-4 対策費用

計画期間における道路土工構造物の補修・更新計画を作成しました。道路土工構造物の補修・更新は、まず、判定区分Ⅳ（緊急措置段階）の構造物について緊急措置を行い、次に判定区分Ⅲ（早期措置段階）の構造物について、概ね5年間で対策（更新）を行います。判定区分Ⅲの対策が完了後、判定区分Ⅱ（経過観察段階）の構造物の対策（補修）を順次実施するものとしています。

補修・更新計画は、点検結果と優先度評価結果に基づき、道路土工構造物の規模や対策時期の集中等により1年当たりの対策費用にバラツキが生じないように、対策時期を調整して費用の平準化を図っています。

その結果、補修・更新費用は10年間で約1.3億円（1年当たり約1,300万円）となり、最大で1年当たり約2,000万円の費用が見込まれます。

【補修費用・調査費用の合計の推移】（単位：万円）



図 6-2 計画期間における道路土工構造物の補修・更新費用の推移

優先度評価結果

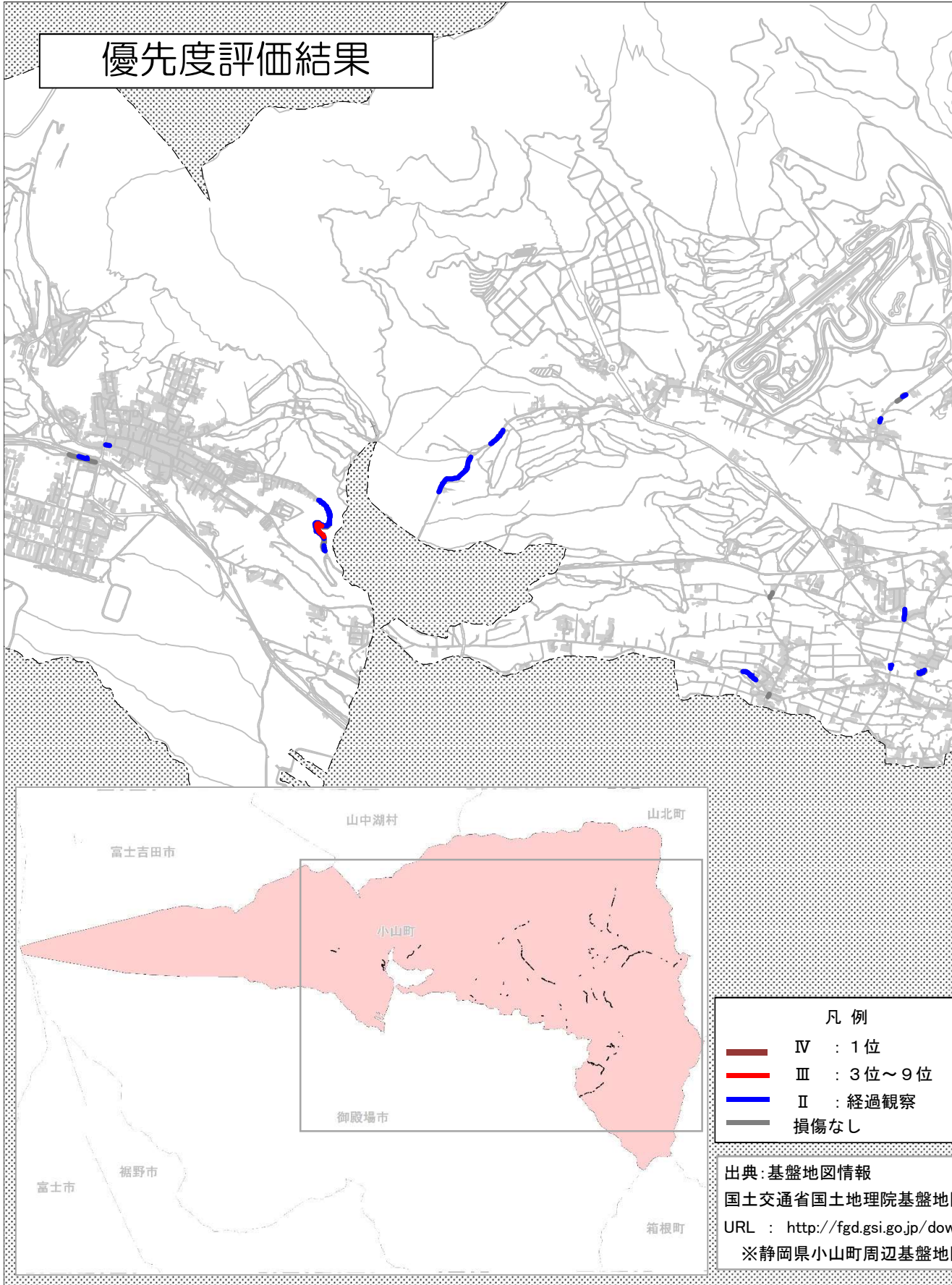


図 6-3 優先度評価結果

